花園中学校では４月の職員会議において「花園中教育公約」を決定し、それを生徒及び保護者の皆様にお伝えしています。その内容は、本校の学校教育目標である「・心を磨く生徒・真摯に学ぶ生徒・体を鍛える生徒」を達成するための具体的な行動指針が示されているものです。今年度も前期終了時にそれぞれの項目について、４（達成している）３（ほぼ達成している）２（あまり達成していない）１（達成していない）の４段階で、全職員による評価を行いました。その結果は別表をご覧ください。

花園中学校では教育公約の達成目標を評価４＋３の割合が８０％以上と設定しています。今回の評価では、清掃で「心を磨く生徒」に関して目標値に達しなかった項目が見られました。清掃に関しては昨年度後期より清掃委員会を中心に「無言ひざつき清掃」への取組を始めています。今回はこの取組がまだ定着しておらず、評価が低かったと考えられます。本校の生徒は落ち着いており、多くの生徒が清掃にもまじめに取り組んでいます。しかし、指示された仕事はできるが、自ら考え主体的に取り組むことができない生徒が見られます。無言清掃の場合は、自ら見て、考えて清掃に取り組む姿勢が必要となってきます。

そこでこの課題解決のために、今後、生徒会本部役員と清掃委員を中心にした取組みを進めていく予定です。具体的には、無言ひざつき清掃の目的・意義や清掃方法のより具体的な例を清掃委員会集会で示すことで、清掃に対する生徒の意識の変化を図っていきたいと考えています。自ら見て、考えて清掃に取り組むことで、心も磨くことができる生徒を育ててまいります。